

# 施策評価シート（平成26年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	2-6	政策名	健康づくりの推進	政策の 目指す姿	心身ともに健康に暮らしてい ます	施策 主管課	健康づくり課	施策主管 課長名	伊藤 徳明
	施策No.	1	施策名	健康づくりの支援	施策の 目指す姿	健康に対する意識が高まっ ています	関係課名	障がい福祉課、生活環境課		
	現状と課題	<p>・健康づくりに関するアンケートによると、本市では30代男性で朝食を欠食する人が増えており、また、1日平均塩分摂取量は国の目標値より高くなっています。</p> <p>・県民生活習慣実態調査によると、運動習慣のある者の割合が増え、1日の平均歩数も増加しています。しかし、男性の肥満は横ばいとなっています。</p> <p>・口腔の健康は、食事や会話を楽しむなど、日常生活を送るうえで重要な役割を果たしていますが、歯肉炎や歯周病の患者は増加傾向にあります。</p> <p>・市民の死亡原因の第1位は「がん」であり、特に大腸がんは、女性の死亡割合が高くなっています。また、死因の第2位は「心疾患」、第3位は「脳血管疾患」となっています。市民のだれもが自分の健康に関心を持ち、生活習慣病の予防・早期発見をしていくことが大切です。</p> <p>・毎年数十人の方が自ら命を絶っており、悩みをかかえる市民をサポートしていく必要があります。</p>								

## 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

### (1)健康づくりの取り組みの支援

- 食事や運動、心身の健康の知識などの普及啓発
  - ・コミュニティ会議と協働で健康アップ講座を開催
- 医師会など関係機関と連携した健康相談の実施、相談機関の普及
  - ・自殺予防対策としてゲートキーパーの養成や「こころの体温計」を運用開始
- 歯科口腔保健に関する知識などの普及啓発と歯科検診の実施
  - ・歯科保健大会の開催と成人歯科検診(30、35歳)や歯周病予防検診(40、50、60、70歳)の実施
- 運動教室や食育講座などの開催
  - ・食育講座や親子の料理教室を開催

### (2)生活習慣病の予防の推進

- 生活習慣病予防の普及啓発
  - ・医師会の協力のもと保健大学を開催
- 健(検)診の実施と受診しやすい環境づくり
  - ・無料クーポン券により大腸がんと女性特有のがん(子宮頸がん・乳がん)を受診勧奨
  - ・35歳節目健診により若年者に受診勧奨

### (3)感染症予防の推進

- 予防接種の実施と普及啓発
  - ・水痘と高齢者肺炎球菌が定期接種となり、こどもインフルエンザに市単助成したほか、狂犬病予防などを実施

## 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
食事に気をつけている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取り組みとして、普段から食事に関心をつけているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート(毎年4月実施) 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。	%	目標値				53.4	55.2	57.0
				実績値	51.5	51.2	51.9	53.0		
健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取り組みとして、意識的に運動しているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート(毎年4月実施) 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。	%	目標値				32.7	34.6	36.5
				実績値	29.9	28.0	30.1	30.7		
定期的に健康診断などを受けている市民の割合	自分自身の健康維持・増進への取り組みとして、定期的に健康診断を受診しているかどうかを示す指標	出典：市民アンケート(毎年4月実施) 問：《健康管理》あなたは、健康管理について、日常生活の中で取り組んでいることがありますか。	%	目標値				62.6	63.6	64.6
				実績値	58.2	60.9	61.5	70.0		

## 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「食事に気をつけている市民の割合」・・・【達成度 b】</p> <p>・H23からH26にかけて順調に推移していることから、健康づくりの取り組みの成果が現れていると考える。</p> <p>■成果指標「健康増進のために意識的に運動をしている市民の割合」・・・【達成度 b】</p> <p>・H23からH26にかけて順調に推移していることから、健康づくりの取り組みの成果が現れていると考える。</p> <p>■成果指標「定期的に健康診断などを受けている市民の割合」・・・【達成度 a】</p> <p>・H23からH26にかけて順調に推移していることから、生活習慣病予防の取り組みの成果が現れていると考える。</p>

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	健康教育相談事業	健康づくり課	A	C
	健康相談や健康教育を実施 (各種健康教育の開催回数 ㉔ 171回)			
2	健康づくり推進事業	健康づくり課	B	B
	保健推進委員による地域への普及啓発を実施 (保健推進委員の事業協力回数 ㉔ 380→㉕ 362回)			
3	食生活改善推進事業	健康づくり課	A	B
	食生活改善推進員により減塩指導を実施 (食生活改善伝達講習会の実施回数 ㉔ 231→㉕ 208回)			
4	健康診査事業	健康づくり課	B	C
	各種がん検診を実施 (大腸がんの受診率 ㉔ 34.9→㉕ 34.4%)			
5	歯科保健事業	健康づくり課	B	B
	成人歯科検診、歯周病予防検診を実施 (受診者 ㉔ 1,104→㉕ 1,107人)			
6	感染症予防対策事業	健康づくり課	B	B
	予防接種法により各種予防接種を実施 (日本脳炎の接種率 ㉔ 84.8→㉕ 116.6%)			
7	感染症予防対策事業	生活環境課	B	B
	狂犬病予防法により予防接種を実施 (狂犬病予防の接種率 ㉔ 89.8→㉕ 90.5%)			
8	国保制度健全運営事業	健康づくり課	A	C
	特定健診と特定保健指導を実施 (健診受診者 ㉔ 9,212→㉕ 9,126人)			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

・健康教育相談事業は、施策の目標達成(健康づくりの意識啓発)に直結することから、更なる啓発の必要がある。

(新たに取り組むべき事業はないか)

#### 6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・国保加入者における生活習慣病の疾病別医療費の第1位は「高血圧」なので、血圧をリスクとする「脳卒中予防」対策の取組みが必要。
- ・がん検診や特定健診の受診率が目標値に届かないため、「受診率向上」対策の取組みが必要。
- ・同時に、ウイルスが関与する「がん」については、死亡リスクを軽減するための取組みが必要。

(今後の方向性)

- ・市民全体に対する普及啓発と要注意者に対する重症化予防対策を組み合わせ、脳卒中予防対策を展開する。
- ・若年層や職域をターゲットに健康教育を行い、受診率の向上に結び付ける。
- ・若い女性に多い「子宮頸がん」の検診精度が上がり、がんの発生や死亡のリスクを減らせるとともに、現在2年に1回の検診間隔が伸び、受診者の負担や検診コストの軽減が期待できるため、HPV(ヒトパピローマウイルス)検査の導入について検討する。